

平成 23 年

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

平成23年中の岡崎市における火災概況は、出火件数139件、火災による焼損面積は、建物2,735㎡、林野6a、損害額2億2,019万5千円、火災による死者は2人、負傷者は19人であった。

【火災概況】

(第1表)

比 較 区 分		平成23年	平成22年	比 較	過去10年平均	比 較
		(A)	(B)	(A)－(B)	(C)	(A)－(C)
出火件数(件)		139	112	27	161	△22
火災種別	建物火災	61	68	△7	76	△15
	林野火災	3	1	2	6	△3
	車両火災	18	14	4	23	△5
	その他の火災	57	29	28	57	0
焼 損 面 積	建物(㎡)	2,735	1,319	1,416	2,412	323
	林野(a)	6	3	3	73	△67
損 害 額 (千円)		220,195	104,315	115,880	168,657	51,538
死 傷 者 (人)	死 者	2	5	△3	4	△2
	負 傷 者	19	14	5	19	0

備考1 △印は、減を示す。

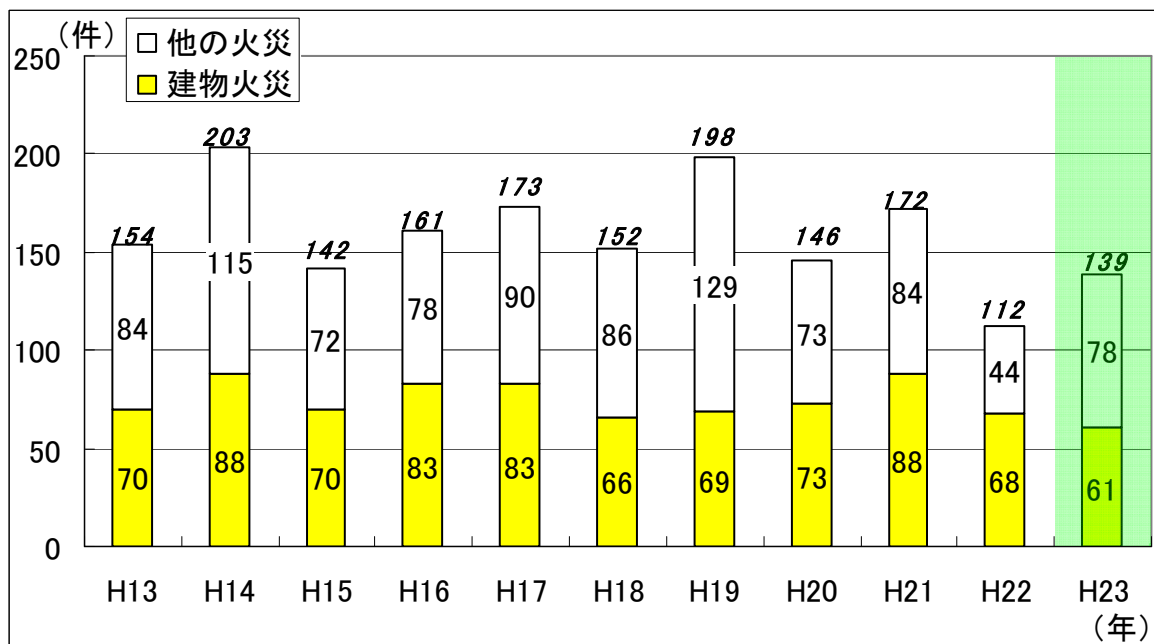
2 平成17年以前の件数等については、額田町と合併していないため額田管内の件数等を含んでいない。

1 出火件数

出火件数の139件を火災種別ごとにみると、建物火災が61件(44%)と最も多く、以下、その他の火災の78件(41%)、車両火災の18件(13%)、林野火災の3件(2%)となっており、出火件数139件は、前年の112件と比較すると、27件の増加で、過去10年平均の161件を22件下回っている。

過去10年間の火災発生件数

(第1図)



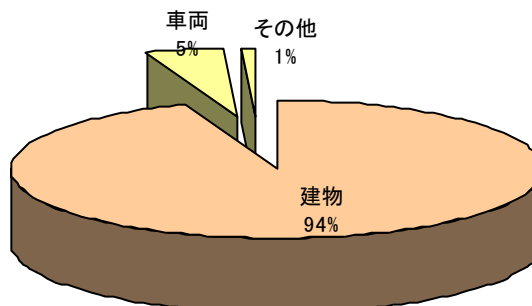
2 損害額

火災による損害額2億2,019万5千円の内訳は、最も多いのは建物損害の2億785万3千円で、全損害の94%を占め、以下、車両損害の1,078万2千円、その他の損害の156万円の順となっており、損害額2億2,019万5千円は、前年の1億431万5千円と比較すると、1億1,588万円の増加であり、過去10年平均の1億6,865万7千円より5,153万8千円上回っている。

【損害額の内訳】 (第2表)

	損害額 (千円)
建物	207,853
林野	0
車両	10,782
その他	1,560
合計	220,195

(第2図)



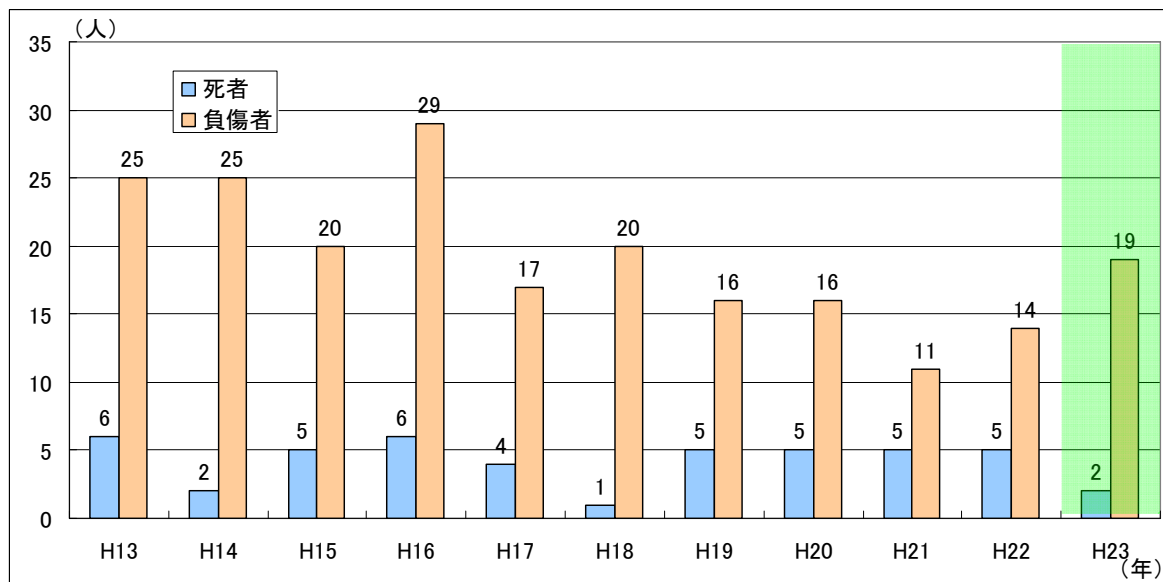
3 死者、負傷者

火災による死者は2人で、前年と比較すると3人の減少であり、過去10年平均の4人を下回っている。

また、火災による負傷者は19人で、前年と比較すると5人増加しており、過去10年平均の19人と比較すると増減はない。

過去10年間の死者、負傷者の発生状況

(第3図)



4 出火原因

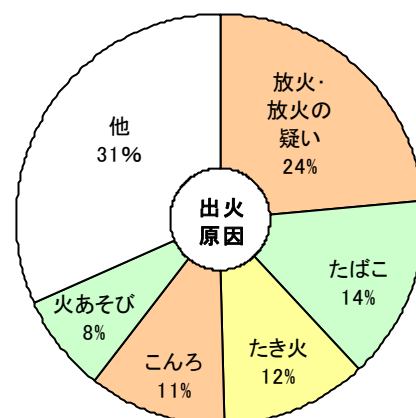
出火件数139件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」33件(24%)が最も多く、以下「たばこ」20件(14%)、「たき火」16件(12%)、「こんろ」15件(11%)、「火あそび」11件(8%)の順となっている。なお、こんろ15件のうち9件は、天ぷら油火災によるものである。

【主な原因別件数】

(第3表)

区分	平成23年 (件)	平成22年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い	33	34	△ 1
たばこ	20	17	3
たき火	16	7	9
こんろ	15 (9)	16 (11)	△ 1
火あそび	11	6	5
他	44	32	12
合計	139	112	27

(第4図)



備考1 こんろの()内は、天ぷら油火災を示す。

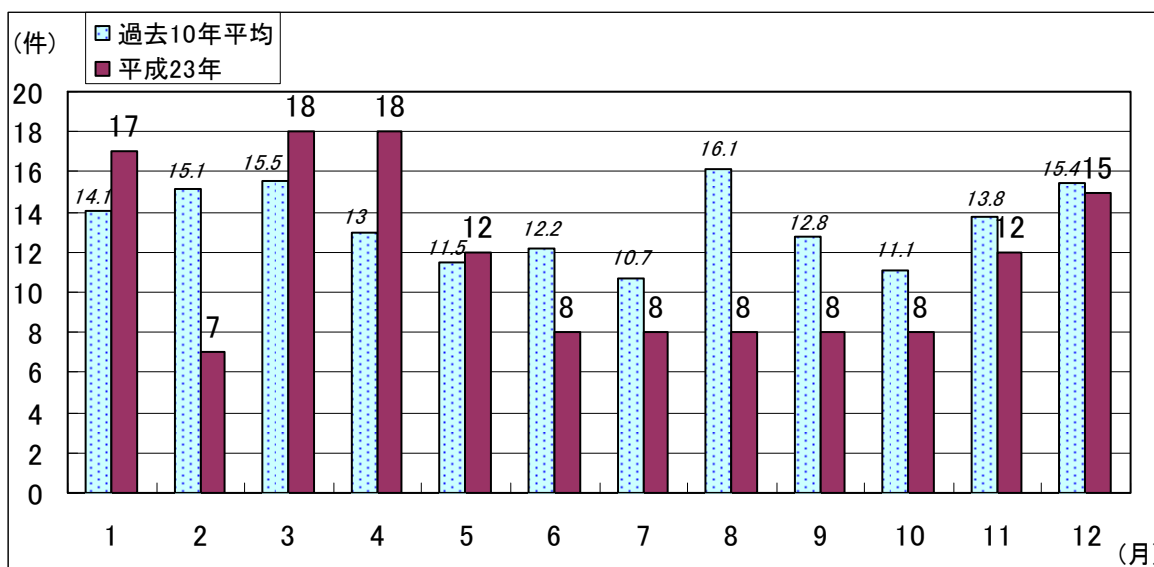
2 △印は、減を示す。

5 月別出火状況

出火件数 139 件を月別にみると、3月、4月の18件（13%）が最も多く、続いて1月の17件（12%）、12月の15件（11%）となっている。

月別出火件数

(第5図)



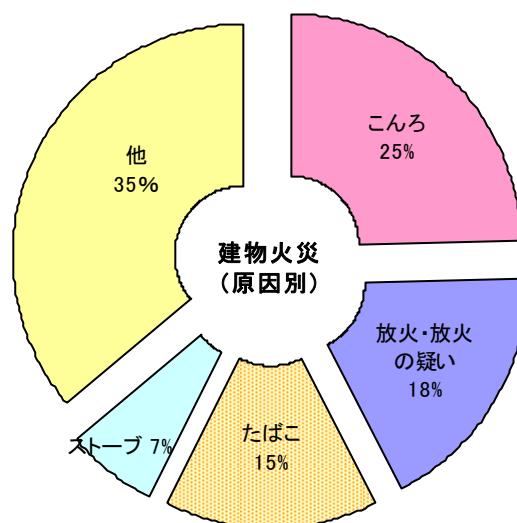
6 建物火災の状況（主な出火原因）

建物火災の61件を主な出火原因別にみると、「こんろ」15件（25%）が最も多く、以下「放火・放火の疑い」11件（18%）、「たばこ」9件（15%）の順となっている。

(第6図)

【主な原因別件数】 (第4表)

出火原因	出火件数 (件)
こんろ	15
放火・放火の疑い	11
たばこ	9
ストーブ	4
他	22
合計	61



救 急 の 概 況

平成 23 年中の救急出場件数は 14,399 件で、搬送人員は 13,576 人であった。

前年と比較すると出場件数で 538 件増加し、搬送人員では 658 人増加している。

種別内訳では、急病が全体の 6 割を占める 9,248 件 (64%) で、続いて一般負傷が 1,752 件 (12%)、交通事故 1,510 件 (10%) の順であり、増加したものは急病 358 件、一般負傷 227 件、交通事故 32 件、運動競技 11 件、自然災害 3 件、その他 1 件で、減少したものは、加害 27 件、労災 25 件、火災 22 件、自損行為 20 件であった。

【救急出場状況】

(第 1 表)

比較		平成 23 年	平成 22 年	比較	過去10年平均	比較
区分		(A)	(B)	(A)－(B)	(C)	(A)－(C)
救急出場件数		14,399	13,861	538	13,134	1,265
搬送人員		13,576	12,918	658	12,660	917
種別内訳	火災	42	64	△ 22	30	12
	自然災害	3	0	3	3	0
	水難	5	5	0	3	2
	交通事故	1,510	1,478	32	1,664	△ 154
	労働災害	133	158	△ 25	151	△ 18
	運動競技	99	88	11	87	12
	一般負傷	1,752	1,525	227	1,524	228
	加害	62	89	△ 27	110	△ 48
	自損行為	184	204	△ 20	192	△ 8
	急病	9,248	8,890	358	8,135	1,113
	その他	1,361	1,360	1	1,236	125

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場状況

月別救急出場件数は、8月が1,360件と最も多く2月が1,054件と最も少なかった。

1カ月の平均は1,200件で、1日平均39件となっており、36.5分に1件の割合で出場したことになる。

搬送人員では、8月が1,269人と最も多く、2月が970人と最も少なかった。

1カ月の平均は1,131人で、1日平均37人となっており、市民27人に1人が救急車で搬送されたことになる。

【月別救急出場件数】 (第2表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	7			94	9	6	143	3	13	844	103			27	1249
2月				76	7	5	139	4	13	681	99			30	1054
3月	4			133	6	7	132	9	23	797	105			14	1230
4月	3			163	7	6	146	4	12	696	84			20	1141
5月	3		1	123	5	9	136	5	20	704	71			18	1095
6月			2	113	15	12	136	11	17	730	95			30	1161
7月	3	2		144	18	10	162	5	13	843	69			31	1300
8月	1		1	135	16	14	158	6	11	872	97	1		48	1360
9月	5	1		127	19	9	150	2	21	755	85			18	1192
10月	5			138	12	16	169	5	15	769	82	1		14	1226
11月	7		1	131	11	4	119	4	12	746	87			13	1135
12月	4			133	8	1	162	4	14	811	97	1		21	1256
合計	42	3	5	1510	133	99	1752	62	184	9248	1074	3		284	14399

【月別搬送人員状況】 (第3表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	4			108	9	6	127	2	8	790	103			3	1160
2月				79	7	5	130	3	9	637	99			1	970
3月				140	7	7	121	7	16	746	105			3	1152
4月	1			177	7	7	139	4	9	657	84			1	1086
5月	2		1	127	5	9	133	6	13	659	71			4	1030
6月				116	14	12	129	11	14	696	95			4	1091
7月		1		167	18	10	155	4	9	803	69				1236
8月				148	16	14	154	5	6	829	96			1	1269
9月	3	1		137	19	9	143	3	14	731	85			3	1148
10月	1			149	12	16	162	6	12	738	82			1	1179
11月	4			136	11	4	117	3	10	709	86			1	1081
12月	1			145	8	1	151	3	11	753	97			4	1174
合計	16	2	1	1629	133	100	1661	57	131	8748	1072			26	13576

救 助 の 概 況

平成 23 年中の救助出動件数は、263 件で救助人員は 96 人であった。
 前年と比較すると出動件数は 14 件、救助人員は 3 人の増加であった。
 過去 10 年の平均出動件数は 183 件で、80 件の増加であった。
 種別内訳では、その他の事故が全体の 44%にあたる 116 件を占めている。

【救助出動状況】

(第 1 表)

比較 区分		平成 23 年	平成 22 年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A) - (B)	(C)	(A) - (C)
救 助 出 動 件 数		263	249	14	183	80
救 助 人 員		96	93	3	63	33
種	火 建 物	36	49	△ 13	55	△ 19
	災 建 物 以 外	17	14	3	22	△ 5
別	交 通 事 故	51	49	2	57	△ 6
	水 難 事 故	4	8	△ 4	4	0
内 訳	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	2	0	2	3	△ 1
	機 械 に よ る 事 故	7	4	3	4	3
	建 物 等 に よ る 事 故	28	32	△ 4	14	14
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	6	△ 4	2	0
	破 裂 事 故	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 事 故	116	87	29	22	94

備考 △印は、減を示す。

月別救助出動状況

月別出動件数では8月は33件(12%)、1月は29件(11%)と多く、その反面3月は12件(5%)と少なく、1カ月の平均は約22件であった。

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1月	6	1	6	1			3			12	29
2月		1	6			2	3			9	21
3月	4						4			4	12
4月	3	4	5			2	2			2	18
5月	3	1	4				1	1		9	19
6月		2	3	1			1			13	20
7月	3		4		2	1		1		7	18
8月	1		6	1			4			21	33
9月	2	3	9			1	1			11	27
10月	4	1	5				1			13	24
11月	6	2	2	1			5			5	21
12月	4	2	1			1	3			10	21
合計	36	17	51	4	2	7	28	2		116	263